

齊藤北陸総合通信局長が日本コミュニティ放送協会北陸地区協議会ワークショップに参加

— 平成27年に開催されるJCBA総会に向けて北陸独自の先進的取組を期待 —

齊藤一雅北陸総合通信局長は、平成25年5月30日、日本コミュニティ放送協会北陸地区協議会（会長 島 隆司）が開催したワークショップに出席し、激励しました。

今回のワークショップは北陸総合通信局が提案したもので、日本コミュニティ放送協会北陸地区協議会会員、北陸総合通信局のほか、福井市及び福井ケーブルテレビが参加しました。

ワークショップでは、まず、コミュニティ放送事業者、行政、ケーブルテレビ事業者がそれぞれの立場からコミュニティ放送の役割や地域での連携の取組について発表した後、ディスカッションを行いました。ディスカッションでは、「行政、コミュニティ放送、ケーブルテレビの3者が地域を元気にするためのプレーヤーとして認め合い、補完し合う消極的連携の関係から、創造的な積極的連携の関係へと一歩踏み込んでいくことが必要では」、「平成27年に開催されるJCBAの総会に向けて、北陸のコミュニティ放送として、何か全国のモデルになるような先進的な取組に挑戦したい」、「防災・減災や観光振興を通じて地域の安心・安全や発展にもっと貢献したい」等のご意見が出されました。

最後に、齊藤局長が、「行政やケーブルテレビとの連携を深めることで、コミュニティ放送の立ち位置が明確になる。地域の中での連携と地域の枠を超えた連携のアイデアを絞り、ぜひ北陸モデルとして挑戦してほしい。北陸総合通信局としても一緒に考え、悩み、応援していきたい」と述べました。



北陸のコミュニティ放送の連携と挑戦への期待を述べる齊藤局長



自治体、ケーブルテレビ事業者との連携、地域を越えた連携のアイデアを討議

